

JAPAN COFFEE IN GOOD SPIRITS CHAMPIONSHIP 2024
OFFICIAL RULES AND REGULATIONS



ジャパン コーヒー イン グッド スピリッツ チャンピオンシップ ルール規約
SCAJ バ리스タ委員会

TABLE OF CONTENTS (目次)

1. 参加条件	4
1.1 参加者	4
1.2 申し込み	4
1.3 競技者からの質問	4
1.4 規約	5
1.5 ルール遵守	5
2. 競技	5
2.1 審査員構成	5
2.2 予選大会の競技内容	5
2.3 決勝大会の競技内容	6
3. 飲料の定義	6
3.1 コーヒーとアルコールのデザイナードリンク	6
3.2 アイリッシュコーヒー	6
4. 競技の手順	7
4.1 ステージ	7
5. 機器, アクセサリー類, 原材料	7
5.1 エスプレッソマシン	7
5.2 グライNDER	7
5.3 追加電気機器	8
5.4 提供される設備, 備品類	8
5.5 持参を推奨する機器類, 供給品	8
6. 準備時間前にすべきこと	8
6.1 競技者オリエンテーションミーティング	8
6.2 準備・練習用ルーム	9
6.3 競技時の音楽	9
6.4 時間の厳守	9
6.5 ステーションセットアップ	9
6.6 グライNDERのセットアップ等	9
6.7 準備物の持ち込みについて	9
7. 準備時間	10
7.1 準備時間開始	10
7.2 カート	10
7.3 審査員用プレゼンテーションテーブル	10
7.4 試し抽出	10
7.5 カップを事前に温めておく	10
7.6 準備時間の最後に	10
8. 競技時間	10
8.1 司会からの紹介	10
8.2 競技時間開始	10

8.3 提供することが求められているドリンク.....	11
8.4 ボランティアスタッフが提供されたドリンクを下げることに ついて	11
8.5 作業エリアの区画	11
8.6 競技時間の最後に	11
8.7 競技時間後のプレゼンテーションについて	11
8.8 競技時間超過について	11
8.9 コーチングについて	11
9. 技術的な問題について	12
9.1 妨害行為について	12
9.2 アクセサリー類を忘れたら	12
10. 片付け時間	12
11. 競技終了後	13
11.1 競技記録の保管について	13
11.2 デブリーフィング, 報告会(決勝のみ)	13
12. 競技者からの異議申し立てと嘆願要請	13
12.1 競技者に関する問題.....	13
13. 評価項目	14
13.1 競技エリア	14
13.2 味覚評価	14
13.3 飲料のプレゼンテーション.....	14
13.4 技術的な技能	14
13.5 パフォーマンス	14
14. ビジュアル/テクニカル評価方法	14
14.1 評価スケール.....	14
14.2 ビジュアル評価.....	14
14.3 テクニカル評価.....	15
15. テイスト評価方法	16
15.1 評価スケール.....	16
15.2 テイスト評価	16
15.3 パフォーマンス評価	17
16. JCI GSC 審査員による、不誠実な姿勢について	17
16.1 嘆願要請	18
16.2 SCAJ バリスタ委員会における、再検討される嘆願について.....	18
17. 連絡先	18
17.1 SCAJ 事務局	18
17.2 競技会事務局	18

1. 参加条件

1.1 参加者

1.1.1 代表者選考

日本スペシャルティコーヒー協会（以下、SCAJ）が主催するジャパンコーヒーイングッドスピリッツチャンピオンシップ（以下、JCIGSC）はWorld Coffee Events（以下、WCE）が主催するThe World Coffee in Good Spirits Championship（以下、WCIGSC）の日本代表選考を兼ねて開催され、大会は当協会が定めるJCIGSCルール&レギュレーションに準拠して運営されます。

1.1.2 年齢制限

出場選手は、20歳以上でなければいけません。

1.1.3 国籍

競技者は、会員資格を問わず日本在住の方、もしくは、2年以上の在職証明・就学証明書類を所持していることとします。以下、パスポートではなく、2年以上の在職証明・就学証明書類により参加申請する場合には、国内大会開催の12か月前に、上記の期間の条件を満たしていなければなりません。競技者は、WCIGSC年度内に1か国のみの代表として、WCIGSCにて競技することができます。

1.1.4 複数のパスポート保持者

複数の国のパスポートを所持している場合、その出場者はひとつの国を選び、その国の代表者選考会にて資格を与えられなければなりません。

1.1.5 審査員との利害関係

いかなるレベルのCoffee in Good Spirits Championshipへの出場者でも、他のCIGSCイベントでの審査はできません。

もし、WCIGSC年度イベントにおいて審査を行った場合、同様イベントへの資格はないものとします。

上記同様のルールに従い、ジャッジカリブレーションのバリスタを行うバリスタも同様に参加できないものとします。

利害衝突を防止する為にWCEではこの内容を明示していますが、異議、申し立てがあれば competition@scajconference.jpへの連絡を行う事ができます。

1.1.6 参加への例外事項

何かしらの理由で、国内優勝者が参加できない場合には、国内競技会での上位順の方から、優勝者の代わりにWCIGSCへの参加ができます。その際には、Competition BodyはWCEへ上記の要請を書面にてしなければなりません。

書面提出先は、competition@scajconference.jp とします。

1.2 申し込み

1.2.1 登録フォーム

競技者は、JCIGSC競技者登録フォームの必要事項をすべて記載の上、協会ホームページより申し込みを行ってください。正式登録は参加登録料の入金確認をもって登録完了とします。期日までに入金を確認されなかった場合はキャンセル扱いとします。入金期日は登録フォームの入力確認後ご案内いたします。

1.2.2 申し込み期間

競技者は、協会ホームページにて定めた期間内に申し込みを行ってください。期間外の登録行為は全て無効となります。

1.3 競技者からの質問

すべての競技者は、当協会が定める最新のJCIGSCルール&レギュレーションおよびスコアシートをよく読み、理解をする責任があります。JCIGSCルール&レギュレーションとスコアシートの理解不足による異議申し立てに対しては、例外措置および便宜をとることはありません。すべてのJCIGSC関連書類は、協会ホームページからダウンロードできます。

質問がある場合には、17項を参照に競技会事務局宛てに連絡をしてください。また、事前に行われる競技者オリエンテーションにて質問することもできます。

1.4 規約

競技者は下記の規約を理解していることを認めたくえで、JCI GSC競技者登録フォームを送信および提出してください。

【要注意】

当規約は、個人の責任とJCI GSCの優勝者に賦課される代表者として求められることを含んでいる点に注意してください。

- A. Japan Coffee in Good Spirits Championship (JCI GSC)の優勝者は、SCAJ を代表するバリスタとなること。
- B. JCI GSC 競技者は、以下のことを約束しエントリーを行ってください。
 - a. SCAJ が、それぞれの普及促進に際して、競技者の氏名、画像を使用することを許可すること。その使用に際し、いかなる請求もしないこと。
 - b. 上記の使用に際して、写真、ビデオ、印刷物、インターネット、その他のいかなる電子メディアを含め、いかなる制限も受けないこと。
 - c. SCAJ の好評を維持するために、積極的に活動すること。
- C. 競技者は、SCAJ の定める競技者行動規範をよく読み、また、遵守すること。
- D. JCI GSC 優勝者は、優勝者の行動規範をよく読み、また、遵守すること。

1.5 ルール遵守

JCI GSCはこのルール&レギュレーションに準じ開催されます。競技者がこれに準じない場合は失格と判断されます。

競技者がこれらのルール&レギュレーションの1つ以上を破る場合は強制的に失格となります。

ただし、特別なルールが施行され、実施された場合を除きます。もし、審査員や運営責任者が1つ以上のルールを違反した場合、競技者は嘆願できます。その詳細につきましては、12項“競技者からの異議申し立てと嘆願要請”をご参照ください。

2. 競技

2.1 審査員構成

それぞれの競技者は、2名のテイストジャッジ、1名のビジュアル/テクニカルジャッジ、1名のヘッドジャッジ、計4名の審査員により審査されます。

2.2 予選大会の競技内容

- A. それぞれの競技者には10分間の準備時間と10分間の競技時間が与えられます。
- B. マシン等の清掃時間は特に設けていません。競技終了後、各競技者が使用した機器、備品類を、自身の責任において片づけるようにしてください。
- C. それぞれの競技者は競技時間内に、2名のテイストジャッジにアイリッシュコーヒー2杯と、コーヒーを使用したアルコールベースのホット/ウオームもしくはコールドデザイナードリンクを2杯提供してください。
- D. アイリッシュコーヒー用のグラスは、競技会事務局より規定のグラスとして会場にて提供されます。
240mlのものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、アイリッシュコーヒーのテイスト及びビジュアル/テクニカルジャッジのスコアに0点が付与されます。
- E. 競技者は、コーヒーの抽出に関して、どのような抽出器具も使用可能です。
- F. エスプレッソマシンは運営側で準備されています。それ以外の抽出器具は競技者自身が持参してください。
- G. 競技は1名ずつ行います。
- H. すべてのコーヒーは、競技時間中に抽出されなければなりません。もしコーヒーが競技時間外に抽出、及び、挽かれていた場合、当該飲料の全てのテイスト及びビジュアル/テクニカルスコアで0点が付与されます。
ただし、ドリンクのメインとなるコーヒーが競技時間内に抽出されている場合に限り、そのドリンクに追加で事前に準備したコーヒー要素(例えば、競技時間前に抽出したコールドブリューコーヒーなど)を加えることは認められます。
- I. 競技時間は競技者が手を上げて競技終了の意思表示をしたときに終了します。競技者はタイムキーパーとヘッドジャッジに明確に聞こえるように意思表示をしてください。
- J. 競技者は、デザイナードリンクに、スピリッツスポンサーが提供するスピリッツを使用してください。(使用量、使用方法は問いません)使用されなかった場合は、味覚部分の全ての項目に0点が付与されます。
- K. 競技者は、デザイナードリンクに、シロップスポンサーが提供するシロップを使用してください。(使用量、使用方法は問いません)使用されなかった場合は、味覚部分の全ての項目に0点が付与されます。

2.3 決勝大会の競技内容

- A. 予選大会の上位 6 名の選手が、決勝へ進むことができます。
- B. 決勝大会では、予選大会でのスコアは一切反映されません。
- C. それぞれの競技者には 10 分間の準備時間と 10 分間の競技時間が与えられます。
- D. マシン等の清掃時間は特に設けていません。競技終了後、各競技者が使用した機器、備品類を、自身の責任において片づけるようにしてください。
- E. それぞれの競技者は競技時間内に、2 名のテイストジャッジにアイリッシュコーヒー 2 杯と、コーヒーを使用したアルコールベースのホット/ウォームもしくはコールドデザイナーードリンクを 2 杯提供してください。
- F. 決勝大会でのデザイナーードリンクは、予選大会と同様のドリンクでも、新たなドリンクでも構いません。
- G. アイリッシュコーヒー用のグラスは、競技会事務局より規定のグラスとして会場にて提供されます。
240ml のものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、アイリッシュコーヒーのテイスト及びテクニカル/ビジュアルジャッジのスコアに 0 点が付与されます。
- H. 競技者は、コーヒーの抽出に関して、どのような抽出器具も使用可能です。
- I. エスプレッソマシンは運営側で準備されています。それ以外の抽出器具は競技者自身が持参してください。
- J. 競技は 1 名ずつ行います。
- K. 2 名のテイストジャッジ、1 名のビジュアル/テクニカルジャッジ、および 1 名のヘッドジャッジで審査されます。
- L. すべてのコーヒーは、競技時間中に抽出されなければなりません。もしコーヒーが競技時間外に抽出、及び、挽かれていた場合、当該飲料の全てのテイスト及びビジュアル/テクニカルのスコアで 0 点が付与されます。
ただし、ドリンクのメインとなるコーヒーが競技時間内に抽出されている場合に限り、そのドリンクに追加で事前に準備したコーヒー要素(例えば、競技時間前に抽出したコールドブリューコーヒーなど)を加えることは認められます。
- M. 競技時間は競技者が手を上げて競技終了の意思表示をしたときに終了します。競技者はタイムキーパーとヘッドジャッジに明確に聞こえるように意思表示をしてください。
- N. 競技者は、デザイナーードリンクに、スピリッツスポンサーが提供するスピリッツを使用してください。(使用量、使用方法は問いません)使用されなかった場合は、テイストの全ての項目で 0 点が付与されます。
- O. 競技者は、デザイナーードリンクに、シロップスポンサーが提供するシロップを使用してください。(使用量、使用方法は問いません)使用されなかった場合は、テイストの全ての項目で 0 点が付与されます。

3. 飲料の定義

- A. 競技者は、コーヒーやアルコールを含む材料を各自で用意する責任があります(スポンサーが提供するアルコール及びシロップを除く)。
- B. 競技者は提供されるアルコール及びシロップに(自身が用意する)材料やアルコールを追加することができます。ただし、規制薬物や違法薬物は禁止とします。

3.1 コーヒーとアルコールのデザイナーードリンク

- A. 競技者は、使用するコーヒーや抽出器具を自由に選択することができます。
- B. 競技者は、提供するドリンクについて任意で決定できます。それは温かいドリンクでも冷たいドリンクでも構いません。
- C. 食用可能なガーニッシュ(装飾物)を使用してもかまいませんが、ドリンクは飲用可能なものでなければなりません。ドリンクが「飲める」ものよりも「食べられる」ものだと判断された場合には、ヘッドジャッジの裁量により、「バランス」と「総合的な印象」の項目で減点されます。
- D. ドリンクの画像提供は特に必要ありません。
- E. SCAJ は、ドリンクレシピ等をメディアへ掲載する権利を保持しています。

3.2 アイリッシュコーヒー

- A. アイリッシュコーヒーは、コーヒー、ウイスキー、シュガー、動物性(牛に限る)クリームのみで構成されている温かいドリンクです。
- B. 競技者は、使用する含有材料のフレーバーのバランスを取るよう努力してください。
- C. 競技者は、使用するコーヒーや抽出器具を自由に選択することができます。
- D. 競技者は使用するクリームを自由に選択できます。運営側において一般的なクリームの準備は行いますが、運営側で準備したクリームを必ず使用しなければいけないという事はありません。(クリームにフレーバーを着けてはいけません。)

- E. 使用するクリームの量の制限等は特にありません。クリームの量とその他材料とのフレーバーのバランスを取るよう努めてください。
- F. 競技者は、自由にシュガーを使用することができます(ハニー、フレーバー無のシュガーシロップも使用可能)。自身で使用するシュガーは自身で準備してください。運営側で準備されるシュガーは、特に使用しなくても構いません。
- G. 使用するウイスキーは任意に選択できます。生産国、ブランド、熟成年数にかかわらず使用可能です。ただし、スポンサーの契約が関わる場合、アイリッシュコーヒーに関しては、スポンサーのウイスキーを使用する規定となります。もし、競技者がスポンサーのウイスキーを使用しなかった場合、そのドリンクの全てのテイスト項目で0点が付与されます。
- H. アイリッシュコーヒー用のグラスは、JCIGSCより規定のグラスとして提供されます。
240mlのものであれば、自身のグラスも使用可能です。決められた容量以外のグラスを使用した場合、アイリッシュコーヒーのテイスト及びテクニカル/ビジュアルジャッジのスコアに0点が付与されます。

4. 競技の手順

4.1 ステージ

- A. それぞれの競技者には、開始時間と競技場スペース番号が割り当てられます。
- B. 各競技者へ開始時間とステーション番号がつけられます。
- C. 各競技者には、下記のように時間、競技場所のステーション番号が与えられます。
 - I. 10分間の準備時間
 - II. 10分間の競技時間
 - III. 清掃時間は設けていない
- D. 競技者のスコアは、それぞれのラウンドのみでのスコアです。次のラウンドへの持ち込みはありません。

5. 機器、アクセサリ類、原材料

5.1 エスプレッソマシン

コーヒーの抽出でエスプレッソマシンを使用する際は、JCIGSCのオフィシャルマシンスポンサーのマシンを使用しなければなりません。この提供されるエスプレッソマシンは、構造的な変更をすることはできません。そしてまた、以下のスペックによりカリブレートされています。

温度: 90.5~96°C

ポンプ内気圧: 8.5~9.5bar(気圧)

5.1.1 液体や原材料をマシン上へ置かない

いかなる種類の液体や原料もエスプレッソマシンの上部に置いたり、こぼしたりしてはいけません。(たとえば、エスプレッソマシン上部での、お湯・水の入ったカップや容器の設置、液体や原料を注いだり、混ぜたりする行為、原料を温める行為は許されていません。) もし、競技者が液体や原料をエスプレッソマシンの上部に置いたり、注いだりした場合には、失格となります。

5.1.2 失格事項

競技者は、エスプレッソマシンの構成要素となるものや設定、部品などを変更、調整、交換することは許されていません。どんな変更や調整も失格事由となります(例えば、ポルタフィルター、フィルターバスケット、温度、圧力、スチームワンド・チップ(先の部分)など)。誤用や悪用により、大会で使用する機器を破損した場合、その競技を統括しているヘッドジャッジの判断により失格となります。

5.2 グライNDER

- A. 使用が認められるグラインダーは一競技者あたり2台までとします。競技者は、競技会事務局により公式に提供されたグラインダーを使用することもできますし、自身で持ち込んだグラインダーを使用することも、また、提供されたグラインダーと自身のグラインダーの両方を使用することもできます。
- B. 競技者は、競技時間中にコーヒーを挽かなくてはなりません。また、競技中に2台以上のグラインダーを使用してはいけません。

ん。そうでない場合、ビジュアル/テクニカルジャッジのスコアシートの「コーヒー抽出方法のプロフェッショナルさ」の項目で 0 点が付与されます。

5.3 追加電気機器

競技者は競技時間中、グラインダー以外の電気機器を 2 つまで使用することができます。競技者は、事前に持ち込む電気機器を競技会事務局に申告してください(例: ホットプレート、ハンドミキサーなど)。申告しなかった場合、競技者はその機器を競技での使用を許可されないリスクを負います。競技者は、持ち込み機器が大会会場で使用できるかどうか、アダプターやコンバーター(電気変換器)が必要でないかなどを、自身で確かめてください。SCAJ ではいかなるアダプターも変換機も用意しません。予選大会では、2 台目のグラインダーを含め、1500W までの使用となります。

5.4 提供される設備、備品類

それぞれの競技スペースには、次のものが設備されています。

- ・ マシンテーブル(エスプレッソマシン、グラインダー)
- ・ ワークテーブル
- ・ プレゼンテーションテーブル(審査員テーブル)
- ・ エスプレッソマシン
- ・ グラインダー
- ・ ノックボックス
- ・ ゴミ箱
- ・ コンテナ

5.5 持参を推奨する機器類、供給品

競技者は、自身のプレゼンテーションに必要なものをすべて持ち込んでください。競技者は移動時、もしくは、競技中に破損した場合のために予備品を用意してください。競技者は、自身で持ち込んだものは、大会期間中、自身で責任を持って管理してください。JCIGSCボランティアとイベントスタッフは競技者準備室、競技エリアに残された品目について一切の責任を持ちません。競技者は、下記の物を持参してください。

- ・ グラインダー(JCIGSCが提供するグラインダーを使用することができます。)
- ・ 抽出器具
- ・ タンパー
- ・ ショットグラス(テストショット用。ファイナルでの提供するドリンクへの使用は不可)
- ・ スチーム用ピッチャー
- ・ 必要なグラス類(予選大会用)
- ・ 特別に必要な器具類
- ・ パータオルもしくはきれいなナブキン(練習用・競技用)
- ・ 清掃用必需品(カウンター用ブラシ、グラインダー用ブラシなど)
- ・ トレイ(審査員への提供用)
- ・ カート

6. 準備時間前にすべきこと

6.1 競技者オリエンテーションミーティング

JCIGSCが始まる前に、競技者オリエンテーションミーティングが行われます。このミーティングはすべての競技者が参加しなければなりません。このミーティングで、JCIGSCイベントマネージャーおよびヘッドジャッジは、大会の流れについてのアナウンスや説明をします。その中で、スケジュールや競技エリアやバックヤードについての説明をします。競技者は、質問や懸念事項などをJCIGSCイベントマネージャーもしくはヘッドジャッジに質問することができます。

各選手は作成するドリンクの詳細、作成手順の用紙を提出する必要があります。用紙は事前に配布します。競技会当日に用紙を持参してください。

SCAJは、ドリンクレシピ等をメディアへ掲載する権利を保持しています。

6.2 準備・練習用ルーム

競技者が使用する、準備・練習用の部屋が用意されています。この部屋は、競技者、コーチ、ボランティア、JCIGSC事務局のためのもので、JCIGSC審査員、プレスやメディア、競技者の家族やサポートメンバーはJCIGSCイベントマネージャーの許可なしに入ることできません。競技者は、自身の機器、アクセサリ、原材料などをこの部屋に保管しておくことができます。この部屋には、原材料を保管しておくために、冷蔵庫や冷凍庫が用意されています。また、食器洗浄用シンクが用意されていますので、競技者は自身の皿やガラス食器などをきれいにしておくようにしてください。また、自身の食器備品の管理をしてください。ボランティアスタッフは、各競技者の食器備品の破損や喪失に責任を負いません。

6.3 競技時の音楽

6.3.1 予選大会

予選大会では、競技者は音楽をかけることができません。

6.3.2 決勝大会

競技者は、自身の競技時間にかける音源を持参することができます。SCAJではCDのみ再生することができますが、CD以外の音源は対応することができません。音楽には、冒涇、不敬な言葉が入ってはいけません。競技者の責任においてJCIGSCイベントマネージャー、もしくは競技会事務局へ手渡してください。また競技終了後に返却を希望される場合は、ご自身で受け取るようにしてください。

6.4 時間の厳守

競技者は、少なくとも準備時間開始の30分前に、準備／練習ルームにいるようにしてください。

自身の準備時間の5分前に現場にいない競技者は、失格となることがあります。もし、競技スケジュールの進行が遅れている場合でも、競技者の指定された準備時間に合わせて用意しておく必要があります。

6.5 ステーションセットアップ

JCIGSCイベントスタッフは、それぞれの競技者の競技ステーションが、準備時間前に、競技者の要望どおりになっているようにする責務を負っています。(例えば、グラインダー、ブレンダー、また電気機器の位置が競技者の要望どおりになっているか確認してください。)

6.5.1 グラインダーのセットと持込み機器に関して

もし、競技者が自身のグラインダーを持ち込む場合には、競技者は、大会前にJCIGSCイベントマネージャーに知らせなければなりません。イベントスタッフは準備時間の開始前に競技者に連絡を取り、競技者がイベントスタッフに自身のグラインダーや持ち込んだ電気機器を運ぶのを手伝ってもらいたい確認を取ります。しかし、これらの機器が設置され、また、コンセントを入れた段階において、競技者はこれらの機器に触ることはできません。即座にその場から離れてください。

【要注意】

コーヒー豆は準備時間が始まるまでは、ホッパーの中に入れてはいけません。

6.6 グラインダーのセットアップ等

競技者、JCIGSCボランティアと運営スタッフ以外の誰も、準備時間、片付時間中にステージ上に上がることはできません。

6.7 準備物の持ち込みについて

競技に使用する準備物は、全てばんじゅうに入れてステーションに持ち込んでください。他のトレイなどにセットして、持ち込むことはできません。ただし、電気機器等は、除きます。ばんじゅうは事務局でも用意しますが、自身のばんじゅうを持ち込んで使用することも可能です。

7. 準備時間

7.1 準備時間開始

それぞれの競技者は、10分間の準備時間を与えられています。競技者が競技を開始したら、JCIGSCイベントマネージャーか、もしくは、準備時間のタイムキーパーの告知により、次の競技者の準備時間が始まります。準備時間の目的は、ステーションのセットアップと競技のための準備のためです。

競技者が指定されたステーションに着き、自身仕様にセットされていたら、タイムキーパーは、競技者に用意はいいかをたずねます。競技者は準備時間を開始するまで、ステーションのいかなるものにも触れてはいけません。競技者は手を挙げて準備時間開始の意思表示を明確にしてください。準備時間のタイムキーパーは、その瞬間よりストップウォッチによる計測を開始します。

7.2 カート

JCIGSC決勝では、備品運搬の際カートを使用することができます。競技者は自分自身で、カートやコンテナから備品などを降ろしてください。カートやコンテナは準備時間中に競技エリア外に出してください。準備時間のタイムキーパーは、準備時間が終わったら、カートやコンテナをステージ周り(競技エリア外)から下げます。カートは、競技時間中にステージ上になないようにしてください。

【要注意】

もし、準備時間が終わった時点で、カートやコンテナの上に品目が残っていても、競技者はカートから積荷を降ろすことはできません。競技者は、競技時間が始まってから、カートやコンテナから積荷を降ろしてください。

「9.2 アクセサリーを忘れたら」を参照してください。

7.3 審査員用プレゼンテーションテーブル

JCIGSC は、競技者のスキルによりフォーカスをあて、大会参加への費用を最小限に抑えたいという意向があります。よって、テーブルクロス、ナプキンや装飾品などをジャッジテーブルに飾り付ける必要はありません。装飾の程度によっては、ヘッドジャッジの裁量のもと“ホスピタリティスキル”の項目での減点対象となる可能性があります。

7.4 試し抽出

競技者には、準備時間中に試し抽出することをお勧めします。パック(ケーキとも呼ばれます)は、競技時間開始時に、ポルタフィルターの中に残っていても構いません。

7.5 カップを事前に温めておく

競技者は、準備時間中にカップを温めておく事ができます。しかし競技時間の開始時には、カップの中に水分が無い様にしてください。エスプレッソマシンの上に液体の入ったカップがある場合には失格となります。

「5.1.1 液体や原材料をマシン上へ置かない」を参照してください。

7.6 準備時間の最後に

競技者は、10分の準備時間を越えて準備することはできません。準備時間のタイムキーパーは準備時間中、競技者に、残り時間が3分、1分、30秒のときにアナウンスをします。10分たったら、準備時間のタイムキーパーは、「TIME」とコールし、一歩下がってくださいと声をかけます。

8. 競技時間

8.1 司会からの紹介

10分間の準備時間が経過し、審査員の準備ができたなら、司会者が競技者を紹介します。すべての競技者は、競技中、ワイヤレスマイクの装着を求められます。競技時間中のみ“Live状態(放送状態)”になっています。

8.2 競技時間開始

司会者は、競技者に開始する準備ができているかを尋ねます。競技者は競技開始時に、タイムキーパーに競技開始の意思表示を明確にし、タイムキーパーの押すタイマーの作動確認後、競技を開始してください。

10分の競技時間の経過確認については、競技者自身が責任を持って行ってください。しかし、競技者はいつでも残り時間を確認することができます。競技時間のタイムキーパーは、残り時間が5分、3分、1分、30秒のときに、競技者に対してアナウンスをし

ます。タイムキーパーはいかなる時でも、指定の時間のアナウンスを決められた時間に行います。それは、もしかすると競技者が話をしているときであるかもしれません。

【要注意】

もし、何かの理由によりタイマーが故障してしまった場合、競技者は自身の競技時間を止めることができません。その際には、タイムキーパーの時間が公式タイムとなります。競技者は上記の通り、時間のアナウンスの提供を受けます。

8.3 提供することが求められているドリンク

すべてのドリンクは、審査員用のプレゼンテーションテーブルに提供してください。どのカテゴリーのドリンクから提供するかは、競技者の判断に任せられます。ただし、1カテゴリーのドリンクの提供を全て終える前に他のカテゴリーのドリンクの提供を行った場合、提供を終えていないカテゴリーのドリンクはテイスト・テクニカル共に0点が付与されます。ドリンクを構成する原材料の準備は競技時間内であればいつでも可能です。

「2. 競技 と 3. 飲料の定義」を参照してください。

8.4 ボランティアスタッフが提供されたドリンクを下げることについて

それぞれのカテゴリーのドリンクが提供され、審査員により評価された後に、ヘッドジャッジの指示により、ボランティアスタッフは審査員用のプレゼンテーションテーブルよりドリンクを下げます。競技者がボランティアスタッフに特別な指示を出す際には、競技時間開始前に、JCIGSCイベントマネージャーとボランティアスタッフにその指示をよく説明する必要があります。ボランティアスタッフは競技者の邪魔にならないように最善をつくしますが、競技者は自身のステーションをコントロールする責任があります。

8.5 作業エリアの区画

競技者は、運営側で準備された、マシンテーブル、ワークテーブル、そしてプレゼンテーションテーブル(審査員テーブル)のみの使用が認められています。いかなる家具や設備の持ち込みも、失格となります。(例えば、スタンド、テーブル、移動式配膳台、作業台等) 競技者が何かを置いておくために、テーブルの下を利用することはできません。ただし、スタンド式のノックボックスの使用は認められます。

8.6 競技時間の最後に

競技時間は競技者が手を上げて競技終了の意思表示をしたときに終了します。競技者はタイムキーパーとヘッドジャッジに 明確に聞こえるように意思表示してください。競技者は好きなきに、競技を終了することができます。例えば、競技者が、審査員用のプレゼンテーションテーブルに 最後のドリンクを提供したときにも終了できますし、また、その後、作業エリアに戻り、競技時間のぎりぎりまでワークテーブル等の清掃をしてから終了することもできます。ヘッドジャッジは、タイムキーパーのストップウォッチから競技者の競技時間を記録します。ヘッドジャッジまたは公式タイムキーパーが記録したタイムは、採点を記録する目的だけに使われます。競技時間は 10 分間です。競技者は、規定時間よりも早く終了することで減点を課せられることはありませんし、また、特別な加点ともなりません。

8.7 競技時間後のプレゼンテーションについて

競技者は、自身の競技時間が終了した後に、審査員に対して話しかけないください。競技時間終了後のプレゼンテーションは得点に加算されません。競技者は競技時間の終了後に、司会との会話を続けることができます。審査員は競技時間終了後に聞いたプレゼンテーションを考慮してスコア表記することはありません。

8.8 競技時間超過について

- A. もし競技者が、割り当てられた10分間の競技時間内に終わることができなくても、完了するまでプレゼンテーションを続けることができます。
- B. 10分を越えた場合、総合得点より毎秒ごとに1点減点されます。
- C. 最大の減点は60点です。
- D. 競技時間が 11 分を超えた競技者は失格となります。

8.9 コーチングについて

準備時間、競技時間を通して、外からの指示やコーチングはいかなる時点でも許されていません。

もし、コーチングが行われた場合には、失格となります。サポーターおよび観客、他のチームメンバーからの喝采は大いにしてくだ

さい。しかし、いかなる方法でも、競技者を手助けすることは許されていません。

【要注意】 コーチ、サポーター、友人、家族は競技時間中、ステージ上に上がることはできません。

9. 技術的な問題について

- A. 準備時間、競技時間の間に、下記のような技術的な問題を感じた場合には、競技者は手をあげ、「テクニカルタイムアウト」を宣言し、準備時間中であればイベントマネージャーを、競技時間中であればヘッドジャッジを呼んでください。その際には、公式タイムキーパーは、いつ「テクニカルタイムアウト」の宣言がされたのかを記録します。タイムキーパーが「テクニカルタイムアウト」の記録をとったかどうか確認するのは、イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジの責任です。
 - i. エスプレッソマシンについて (例えば、電力、スチーム圧、電気系統の不具合、水不足、排水の不具合等)
 - ii. グライNDERについて
 - iii. 他の電子設備について (競技時間用タイマーを除く)
 - iv. オーディオ・ビジュアル設備について (例えば、競技者の音楽やマイクについて)
- B. もし、技術的な問題があり容易に解消できると判断した場合、イベントマネージャーもしくはヘッドジャッジは、競技者にその分の適切な時間を決定します。技術担当者がその問題を修正でき次第、競技者の競技時間は再開されます。
- C. もし技術問題がすぐに解決できない場合、イベントマネージャーもしくは、ヘッドジャッジは競技再開を待たせるか、待たせないか、競技を中止し再度割り当てた時間で競技を再開するか否かについて判断します。
- D. もし競技者が競技時間を止めなければならない場合、ヘッドジャッジ、イベントマネージャーと共に、競技者は競技スケジュールを変更し、後ほど競技を最初からやり直すための時間を調整します。
- E. もし技術的な問題が競技者のミスによるものと判断された場合、追加の時間は競技者に与えない場合があります。その場合、競技者は経過した時間は保証されずに、(タイマーが止まっているところから)そのまま競技時間は再開されます。ヘッドジャッジの判断のもと決断されます。
- F. 大会用の設備機器に精通していない事はテクニカルタイムアウトの事由にはなりません。
- G. グループヘッド同士が一貫性が無いことや変動することは準備時間時のみ、タイムアウトの事由となります。

9.1 妨害行為について

- A. もし、ボランティア、審査員、観客、カメラマンなどが明らかに競技者の障害物となったとき、競技者は追加時間を与えられます。ヘッドジャッジはこのことを俯瞰し、どれほどの時間を保証するかを決定します。
- B. もし、提供後、十分な時間があってもかかわらず、審査員用のプレゼンテーションテーブルにドリンクが残っていて、このミスにより競技時間の遅延が起こった場合には、競技者はその分の遅れを保証されます。これもヘッドジャッジの責任において決定されます。

9.2 アクセサリー類を忘れたら

- A. 競技者が準備時間中に自身の設備機器やアクセサリを忘れていた場合、忘れ物をステージ外にとりに出すことはできます。しかし、この間の準備時間のタイマーは停止されません。
- B. もし、競技者が競技時間中に自身の設備機器やアクセサリを忘れていた場合、ヘッドジャッジに自身で忘れ物をステージ外に取りに出るということを申し出てください。しかし、この間の競技時間のタイマーは停止されません。
- C. ボランティアスタッフ、サポーター、チームメンバーや観客によって、何も持ってきてもらうことはできません。

10. 片付け時間

競技者は競技を終えたら、作業ステーションの後片付けを始めてください。担当ボランティアスタッフは、バックヤードより競技者が荷物を下げるためのカートやコンテナを運んできます。競技者が自分自身でグラインダーや他の電気機器を持ち込んでいる場合には、担当ボランティアスタッフは、競技者が作業ステーションからこれらの品目を下げるのを手伝います。

競技者は、自身で持ち込んだすべての設備および供給品を下げた後、作業ステーションをきれいに拭いてください。審査員は片付け時間中の作業については評価しません。

11. 競技終了後

11.1 競技記録の保管について

11.1.1 オフィシャルスコアキーパー

JCIGSC のオフィシャルスコアキーパーの責任下のもと集計、スコア等も厳密に管理されます。

11.1.2 総合得点

競技者の総合得点は、2名のテイストジャッジと1名のビジュアル/テクニカルジャッジの得点の総合計から、ペナルティや超過時間を減点することにより集計されます。

【要注意】 ヘッドジャッジのスコアシートの得点は、競技者の総合得点にカウントされません。

11.1.3 同点の場合

もし同点の場合は、「フレーバーのコンビネーションとバランス」の項目で得点が高い競技者から上位とします。また、「フレーバーのコンビネーションとバランス」の得点と同じであった場合、「ドリンクの味わいの総合的な印象」の得点が高い競技者から上位とします。

11.2 デブリーフィング、報告会(決勝のみ)

終了セレモニーの後、競技者は審査員と共に、自身のスコアシートを見直すことができます。競技者は、スコアシートの原本を持ち帰ることはできません。JCIGSCの終了後、JCIGSCイベントマネージャーより、各競技者へ郵送にてコピーを送付します。

12. 競技者からの異議申し立てと嘆願要請

12.1 競技者に関する問題

12.1.1 異議申し立て

もし、競技者からJCIGSC大会中に、JCIGSCに関しての問題が提起され、もしくは異議申し立てが成される場合、競技者は、JCIGSCイベントマネージャーに連絡してください。イベントマネージャーは、その場で解決できる問題かどうか、JCIGSCに対して書面にて嘆願する必要があるかを検討します。もし、JCIGSCイベントマネージャーが、その場で解決できる問題との判断を下した場合、関係各者に、その方法が公平公正であるかどうかを確認します。競技者からの問題提起や異議申し立ては、その場でJCIGSCイベントマネージャーとSCAJパリスタ委員会内で議論、決断がなされ、JCIGSCイベントマネージャーより競技者へその決定事項が伝達されます。

12.1.2 嘆願要請

もし、競技者が不平不満を持ち、その不満がその場で解決できない場合、もしくは競技者がその場での決定に対して、嘆願を望んでいる場合、JCIGSCイベントマネージャーは競技者へ、公式な不平もしくは嘆願としてSCAJパリスタ委員会へ書面にて提出するようにと話をします。委員会の決定は最終判断となります。SCAJパリスタ委員会への異議申し立て、および嘆願には、下記の事項を必ず明記してください。

- 1) 競技者氏名:
- 2) 日付:
- 3) 明瞭簡潔な異議申立文書:
- 4) 問い合わせの日時:
- 5) 競技者からのコメント/解決案:
- 6) 関係者:
- 7) 返信用競技者連絡先情報:

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は、取り扱いしません。

競技者は、当該紛争が起こってから、もしくは、不満の元となる決定がなされてから24時間以内に、JCIGSCイベントマネージャーへE-mailにて送付してください。

12.1.3 SCAJ パリスタ委員会における再検討される嘆願について

SCAJ パリスタ委員会は、書面による異議申し立て、および嘆願を受け取ってから 30 日以内に再調査、再検討します。最終判断は競技者へ郵送、もしくは E-mail にて連絡します。

13. 評価項目

13.1 競技エリア

ビジュアル/テクニカルジャッジは、競技時間、パフォーマンスの開始から終了までの競技エリアが清潔かどうか、またエリアのワークフローと整理整頓を評価します。

13.2 味覚評価

それぞれのドリンクの味わいの評価に対して点数が付与されます。競技者は、コーヒーと他食材とのマッチングを考慮し、高品質なアルコールとコーヒーのドリンクを創作することに努めてください。最終的にコーヒーが支配的な味わいでないにしても、明らかに含まれているとの認識ができれば良いでしょう。そして競技者は審査員に対し口頭にて、なぜそのコーヒーでなくてはいけなかったのか、基本的なローストプロファイル、ドリンクの内容構成、主な味わいやシグネチャードリンクに含まれる副材料や提供するドリンクのバックグラウンドにある考え方(なぜこのドリンクを提供しようと思ったのかなど)等の説明をするとよいでしょう。

13.3 飲料のプレゼンテーション

ドリンクの見た目を評価します。

13.4 技術的な技能

競技者の技術的な知識とスキルを評価します。

13.5 パフォーマンス

競技者に対する審査員の総合的な印象、スキル、フレアー(個性・センス・パフォーマンス能力など)、そして競技者個人としてのプレゼンテーション、ドリンク自体のプレゼンテーションを評価し得点が与えられます。

14. ビジュアル/テクニカル評価方法

14.1 評価スケール

2種類の評価方法があります。

- Yes/No
- 数値による評価(0-6点)

評価スケールは、テイスティングジャッジ、ビジュアル/テクニカルジャッジ共に同様です。

YES=1, NO=0

許容できない=0 許容できる=1 標準=2 良い=3 とても良い=4 優秀=5 並外れている驚くべき=6

14.1.1 Yes/No スコア

ここでは、実行されていれば「Yes」、されていなければ「No」が与えられます。

14.1.2 0-6点 スコア

評価範囲は0-6点です。1点から6点の間において、0.5点きざみの評価が得られます。審査員は、この評価範囲を全体的に(広く)使用して評価をすることが推奨されます。低い点数はプレゼンテーションの内容が劣っていることを示し、高い点数は優れていることを示します。項目によっては評価された点数の2倍または4倍の得点が与えられます。

14.2 ビジュアル評価

14.2.1 明確な色の区別(コーヒー、クリーム)

これはアイリッシュコーヒーのコーヒーの液体とその上に乗せられるクリームが分かれているかについての項目です。コーヒーの濃い茶色とクリームの純白さとの間にじみが無い明確さがあれば高得点が与えられるでしょう。クリームとコーヒーが完全に混ざり込んでいる場合には0点が与えられるでしょう。

14.2.2 表面の外観

この項目ではアイリッシュコーヒークリーム表面の外観にコーヒーのにじみが無く、そしてそのクリームに気泡が無く、つやのある状態にて提供された場合は高得点が与えられるでしょう。

14.2.3 プレゼンテーションの総合評価

視覚的に、競技者のドリンクのプレゼンテーションはどれだけ魅力的なものであるか。これには、お客様をドリンクの作成プロセスに誘いこめるかのバーテンダーとしてのスキルも含まれます。ドリンクの作成における自信、フレアー、それとスタイルの表しかたも評価されます。

14.2.4 外観の創造性

審査員は提供されたドリンクを両方評価します。審査員はドリンクの審美的な外観のオリジナリティを探し求めます。ドリンクの外観の創造性を評価する際に、審査員は両方のドリンクの一貫性も考慮します。

14.2.5 総合的外観の魅力的アピール

視覚的観点のみから、そのドリンクはどれだけ魅力的であり、ひきつけられるか。

例えば、そのドリンクは視覚的の魅力によってカフェやバーなどで買いたくなる、飲みたくなるようなものであるか。

14.3 テクニカル評価

14.3.1 スタート時は清潔で整頓されたワークスペースか

- A. 競技者の作業ステーションの清潔さと整然としているか(作業テーブル、準備テーブル、エスプレッソマシン上部)を 0-6 点にて評価します。もし、作業エリアが散らかっていたら(例えば、カウンターやマシン上にコーヒーの粉、こぼれ、割れたガラス、汚れなど)、減点されます。
- B. グラインダー周辺にごく少量のコーヒーの粉が散らかっている場合には、許容範囲とされます。競技者は作業が可能なので、グラインダーの周りにコーヒーの粉が多少あることを理由に 0 点を与えることはありません。
- C. 作業エリアを実践的かつ効果的に整頓されているか、競技者の能力を確かめます。
- D. 競技開始時に、ポルタフィルター内にコーヒーパック(ケーキ)が入っていても構いません。これは、この項目では減点されません。

14.3.2 コーヒー抽出方法のプロフェッショナルさ

競技者はどの抽出方法も選択することができます。競技者の抽出技術(例: 選択したコーヒーの知識、一貫したグラインディングとドレーシング、コーヒーの無駄、抽出時間、抽出器具の理解度、など)が考慮されます。

14.3.3 スピリッツ準備のプロフェッショナルさ

- A. 競技者は、どのようなカクテル作成方法を用いても構いません。競技者のバーテンディング技術(例: 注ぎ、シェイク、ブレンド、計量、ステアなど)が考慮されます。ステージ上でカクテルの材料を計り、注ぎ、作成した競技者は高く評価されるでしょう。
- B. 創造性、スムーズさ、道具や材料のコントロール、シェイク/ミックスやブレンドの正確さ、アルコールや副材料の計量、器(ガラス)への注ぎなどに対して高い評価が与えられます。
- C. ドリンクの作成時にこぼしたり、落としたり、つまずいたり、壊れたりした場合なども、総合的にこの項目のスコアに影響します。
- D. 競技時間前にグラスやドリンク用の器に氷を入れておいてはいけません。

14.3.4 副材料のプロフェッショナルな使用方法

競技者は副素材をプロフェッショナルに使用していることを、材料の選択、品質、準備の方法、そして求められている全体のフレーバーバランスやスタイルへの適合性を通じて実証してください。競技者が、副材料やガーニッシュ、クリームなどを競技時間内に準備した場合、より高い得点が与えられるでしょう。

14.3.5 プロフェッショナルなパフォーマンス

競技者のパフォーマンス評価は、ドリンクの作成において魅せるサービススキル、フレアー、およびスタイルに基づいて評価されます。プロフェッショナルリズムは、バリスタやバーテンダーの職業に関連する資質、優れた顧客サービススキル、ワークフローや時間の管理能力などが考慮されます。競技者は、自身がパフォーマンスをコントロールできるホスピタリティのプロであることを証明しなければなりません。

14.3.6 プレゼンテーションを通して衛生的か

審査員は、競技全体を通して競技者が衛生的であったかを審査します。許容できない例としては、手が顔や口などに触れた後にそのまま手を使ってドリンクの準備をした場合、手が床に触れた後にそのまま手を使ってドリンクを準備した場合、素手で水に触れた場合、などが含まれますが、これらに限定されません。

15. テイスト評価方法

以下はテイストスコアシートの味覚評価方法です。各競技者は2名のテイストジャッジによって審査されます。

審査員のアルコール摂取は限界があるので、味わいやフレーバーがわかる程度の量を摂取します。

審査員は、どのように飲むのか競技者の指示に従い、そのように心がけますが、審査員の状況や大量の摂取に対してはできない場合があります。それはヘッドジャッジの判断、指示のもとに行われます。

15.1 評価スケール

2種類の評価方法があります。

- Yes/No
- 数値による評価(0-6点)

評価スケールは、テイストジャッジ、ビジュアル/テクニカルジャッジ共に同様です。

YES=1, NO=0

許容できない=0 許容できる=1 標準 = 2 良い = 3 とても良い = 4 優秀 = 5 並外れている驚くべき = 6

15.1.1 Yes/No スコア

ここでは、実行されていれば「Yes」、されていなければ「No」が与えられます。

15.1.2 0-6点 スコア

評価範囲は0-6点です。1点から6点の間において、0.5点きざみの評価が得られます。審査員は、この評価範囲を全体的に(広く)使用して評価をすることが推奨されます。低い点数はプレゼンテーションの内容が劣っていることを示し、高い点数は優れていることを示します。項目によっては評価された点数の2倍または4倍の得点が与えられます。

15.2 テイスト評価

テイストジャッジは以下の方法で、ドリンクはすべて同じ方法、手順によって審査されます。

一貫した手順で行うことが重要です。

15.2.1 ドリンクの温度の心地よさ(ホット/ウォーム、コールド)

ドリンクの温度帯は提供された時の温度で審査員に評価されるでしょう。審査員に提供をする前に競技者はドリンクの温度帯についての説明と、それがテイストにどのような影響を与えるかを説明しなければいけません。説明がない場合はこのカテゴリーで0点が与えられます。

提供するデザインードリンクの温度は競技者の任意で選択できます。

15.2.2 ドリンクにコーヒーの質が感じられるか

審査員は、コーヒーの味わいを感じられるかの評価と、そのコーヒーの品質の評価をします。低品質なコーヒーフレーバーである場合や、コーヒーフレーバーが欠如している場合には評価は低くなります。

ドリンクにおいてコーヒーが支配的である必要はありませんが、明らかに含まれていると認識ができる必要はあります。

15.2.3 フレーバーのコンビネーションとバランス

審査員はドリンクの中のフレーバーがうまく連帯して動作し、バランスが取れているかを審査します。審査員はコーヒー、指定されたアルコールや副素材の味覚構成の相性とお互いを補完し合うかを審査します。これらのコンビネーションは決められたアルコー

ルと副材料の両方、またはいずれかの一方を補完すると同時に興味をひく味覚体験を生む必要があります。コーヒーとアルコールの両方はドリンクを飲む際に簡単に識別される必要があります。競技者がドリンクの飲み方について指示を出す場合、審査員はその指示に従う必要があります。

15.2.4 ドリンクのボディ/マウスフィール

- A. 審査員は提供されたドリンクのボディ/マウスフィールが心地よいものか、およびそのスタイルのドリンクに期待されるものであるかを判断します。審査員は異なるドリンクの種類によって異なるマウスフィールが要求されること(例えば Hot Toddy スタイルとマティーニスタイルのドリンクは異なるマウスフィールが要求されること)を認識します。
- B. 競技者は、ドリンクのボディ/マウスフィールを説明することが推奨されます。また、提供するドリンクに期待されるボディ/マウスフィールのイメージを、説明において覆すこともできます。
- C. ボディ/マウスフィールの描写が正確なほど、高得点が与えられます。
- D. ボディの質は、口の中の液体の触感(タクトイル)、特に舌と口蓋の間で感知されるものに基づいています。ボディが軽いドリンクや重いドリンクは、口の中の触感の質に応じて高得点を得ることができます。

15.2.5 創造性(使用した材料/作成手順/プレゼンテーション)

審査員は競技者が使用した材料、作成手順、プレゼンテーションのすべての組み合わせを考慮し、オリジナリティを探してください。審査員はドリンクのコンセプトの独創性、プレゼンテーションや準備に使用される新しい方法、技術、または副材料に基づいて競技者の創造性を評価します。

15.2.6 ドリンク市場への適用性

審査員は競技者がドリンクを作成する方法、使用される材料の種類、そして飲み物としての最終系がマーケットに対して適切であるかも加味し評価を行うべきです。さらに、作成されたドリンクに対して最も広いマーケットで消費者にアピールし、実用性を有すると考えられる場合は高得点を与えるべきでしょう。

競技者は、作成するドリンクが目的としているマーケットと、その適用性について自由にプレゼンテーションできます。

15.2.7 ドリンクの味わいの総合的な印象

審査員は提供されたドリンクを評価します。審査員はドリンクの外観と味わいを個人的な印象に基づいて総合的に評価することが求められます。審査員がこの項目を採点する際には、消費者であればどのようにそのドリンクを採点するかも考慮します。また、この項目では、心地よいマウスフィールや楽しめるような感応体験も評価されます。

15.3 パフォーマンス評価

審査員は以下の方法で競技者を評価します。テイストジャッジは一貫した手順にて行うことが重要です。

15.3.1 プロフェッショナルなパフォーマンス(x 4)

競技者のパフォーマンス評価は、ドリンクの作成において魅せるサービススキル、フレア、およびスタイルに基づいて評価されます。プロフェッショナリズムは、バリスタやバーテンダーの職業に関連する資質、優れた顧客サービススキル、ワークフローや時間の管理能力などが考慮されます。競技者は、自身がパフォーマンスをコントロールできるホスピタリティのプロであることを証明しなければなりません。

16. JCIGSC 審査員による、不誠実な姿勢について

もし、競技の審査中にヘッドジャッジや他のSCAJ/バリスタ委員会により、JCIGSC審査員の不誠実な行動が発覚したり、その可能性が予想されるという好ましくない事態が起こったら、次のことが適用されます。

- A. ヘッドジャッジは、疑惑のある評価の周辺にあるすべての競技者のスコアシートを、公認記録簿より戻すように依頼します。
- B. ヘッドジャッジは、関係のあるJCIGSC審査員を呼び、イベント運営チームとのミーティングにより、この状態を見極めます。
- C. SCAJ/バリスタ委員会は、非公開のミーティングにより裁決します。
- D. もし、不誠実という問題が規模の大きい場合には、SCAJ/バリスタ委員会へ書面にて提出できます。SCAJ/バリスタ委員会の決定は、最終判断となります。

16.1 嘆願要請

もし、JCIGSC審査員がその決定に対して同意しなかった場合、嘆願としてSCAJパリスタ委員会へ書面にて提出できます。SCAJパリスタ委員会の決定は、最終判断となります。SCAJパリスタ委員会への嘆願には、下記の事項を必ず明記してください。

- 1) 氏名:
- 2) 日付:
- 3) 明瞭簡潔な異議申立文書:
- 4) 問い合わせの日時:
- 5) コメント／解決案:
- 6) 関係者:
- 7) 返信用連絡先情報:

上記情報が含まれていない書面による異議申し立て、嘆願は、取り扱いません。審査員は、デブリーフィングの後、もしくは、不満の元となる決定がなされてから24時間以内に、競技会事務局へ E-mail にて送付してください。

16.2 SCAJ パリスタ委員会における、再検討される嘆願について

SCAJパリスタ委員会は、書面による異議申し立て、および嘆願を受け取ってから30日以内に再調査、再検討します。

最終判断は、競技者または審査員へ郵送、もしくは E-mail にて連絡します。

17. 連絡先

17.1 SCAJ 事務局

協会ホームページ: <https://scaj.org/>

17.2 競技会事務局

E-mail: competition@scajconference.jp

TEL: 03-6863-2505

FAX: 03-6863-2510